

梅田雲浜 幕末を駆ける

■問い合わせ 文化課 ☎ 64・6034

小浜が誇る郷土の偉人「梅田雲浜」が生まれて6月7日㊤で、2000年が経とうとしています。幕末に活躍した勤王の志士は、現代を生きる私たちに何を残してくれたのでしょうか。生誕200年や、大河ドラマで再びスポットのあたる雲浜の生きざまに迫りました。

梅 田雲浜は、1815年6月7日に、小浜藩士の矢部義比と、奥州白河藩士の務川又兵衛の娘・義との間に生まれました。

早くから諸国や世界に関心を寄せる子どもで、藩校に入学してからは、その才覚を発揮し、小浜藩の麒麟児（将来が期待される少年）として、名を馳せるようになります。

15歳になると、小浜藩と深い結びつきのある京都の「望楠軒」に、16歳には、江戸の小浜藩校へ進学。崎門学を学び、勤王愛国の精神を培います。26歳で小浜に戻ると、矢部家から独立。祖父の生家である梅田の性を名乗り、小浜藩の将来を背負って立つと期待される学者「梅田雲浜」が誕生します。

1815 小浜に生まれる
幼名「矢部源次郎」



1822 小浜藩校「順造館」に入学（8歳）



1829 京都の私塾「望楠軒」へ入学（15歳）

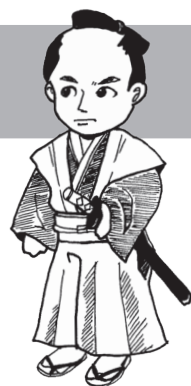
1837 浦賀に来航したアメリカの商船モリソン号が日本側の砲撃を受ける

1828 オランダ人医師シーボルトが禁止されていた日本地図を持ち出す

1825 外国船の日本近海出没を受けて幕府が「異国船打払令」を発令

※上記年表の上段は「梅田雲浜」の略歴
下段は関連のある日本の歴史の一部
参考文献「梅田雲浜入門」（梅田昌彦著）

1843 京都に移り「望楠軒」の講主となる（29歳）



1844 上原立斎の長女・信子と結婚（30歳）

1852 藩籍を剥奪され浪人となる（38歳）



1854 ロシア艦の打ち払いを謀るも失敗（40歳）

1854 ペリー再び来航。日米和親条約を締結し開国、鎖国体制の終焉

1853 アメリカのペリー提督率いる黒船（軍艦4隻）が浦賀沖に来航

1855 妻・信子が肺結核のため病死（41歳）

1858 安政の大獄で捕縛（44歳）

1859 江戸で牢死（享年45歳）



1867 天皇を中心とする新政府誕生。翌年元号が明治と改められる

1858 吉田松陰や橋本左内など多数の者が捕縛（日米修好通称条約締結）

順 風満帆に見えた雲浜の人生。しかし、日本を取り巻く環境は大きく変わっていきます。アメリカのペリー来航と、日米和親条約の締結。幕府と開国に反対する攘夷論者との間に対立が起こります。日本の将来に危機感を抱く雲浜は、小浜藩に海の防衛強化の必要性などを説いた意見書を提出。しかし、徳川譜代大名でもある藩主・酒井家の怒りを買って、1852年に藩籍剥奪となります。浪人として、病を抱える妻子とともに、各地を転々としながらも、雲浜は勤王の志士として奔走。明治維新運動の先駆けとして、全国の志士を鼓舞し、長州藩の吉田松陰らとも親交を深めながら、維新への機運を高めていきます。しかし、1858年、安政の大獄により京都所司代により捕縛。江戸の牢生活の中で病を患い、翌年、45年の生涯に幕を下ろします。将来を嘱望される学者から、尊王攘夷の志士に。そして、時代の新たな扉を開こうとするリーダーへ。幕末を駆け抜けた雲浜の生きざまは、時を経ても色あせず、郷土を想う心と人を導く強さを私たちに教えてくれます。

【ゆかりの地】

「順造門」

千種一丁目 6-13（現若狭高校）



「小浜城址」

小浜神社（城内一丁目 7-55）



「梅田雲浜生誕地」

千種二丁目

「梅田雲浜の墓」
松源寺（北塩屋 14-6）

「梅田雲浜の像」
中央児童公園（大手町）
※杉田玄白記念公立小浜病院前

【豆知識】

「崎門学」

江戸時代前期の儒学者・山崎闇斎（1619～1682）が創始した朱子学の一派。弟子の若林強斎が私塾「望楠軒」を構えて、梅田雲浜をはじめ、尊王攘夷派の志士たちを育てた。

「尊王攘夷」

天皇を日本のよりどころとして外敵を追い払おうという思想。1853年、アメリカの東インド艦隊司令長官マシュー・ペリーが黒船で来航し、開国への圧力をかけてきたことで、この思想が広まった。

「安政の大獄」

1858年、江戸幕府の老成であった井伊直弼は、幕府の政治を批判するものたちを弾圧。100人あまりが捕らえられ罰せられた。梅田雲浜のほかに、吉田松陰や橋本左内も捕らえられ、死刑となった。

梅田雲浜を小浜から全国へ 協働で実行委員会を立ち上げ



実行委員会設立総会(働く婦人の家・4月3日)

明治維新の先駆者とも言うべき、小浜が生んだ偉人「梅田雲浜」の功績を改めて顕彰し、多くの人に広めようと、市民と行政が協働で、梅田雲浜生誕200年記念事業実行委員会を立ち上げました。

4月3日(金)に、働く婦人の家で設立総会が開催され、各市民団体の代表者や市長ら28人が参加。多方面に渡る活動を通して、梅田雲浜を発信し、小浜の教育やまちづくりにつなげていくことが確認されました。

実行委員会は、6月7日(日)の顕彰祭を皮切りに、1年を通して生誕200年記念事業を実施していく予定です。

記念事業への寄付をお願いします

現在予定している記念事業遂行の予算を、実行委員会では約320万円(内市補助金200万円)と試算しています。会では、官民協働体制でこの事業を実現したいとの思いで、市民の皆さんからの募金を計画しました。ご協力をお願いいたします。

目標額	100万円
期間	6月1日(月)～9月30日(水)
募金額	1口5000円以上
方法	募金いただける人には、実行委員会事務局(文化課)から振り込み用紙を送付します。必要事項を記入のうえ、最寄りの郵便局へお願いします

梅田雲浜 生誕200年記念事業

生誕記念顕彰祭

と き 6月7日(日) 10時30分～
ところ 小浜中央児童公園(大手町)
内 容 雲浜小児童による誓いの言葉、吟詠、参加者による祝花

市内中学生対象の顕彰事業

と き 6月8日(月)
ところ 市内各中学校
内 容 梅田雲浜の子孫で元大阪芸術大学教授・梅田昌彦さんの講演

講演会

と き 9月14日(月)
ところ 小浜商工会議所(大手町)
内 容 「梅田雲浜の人物像」出版記念講演(講師：村上利夫さん)

生誕200年記念式典

と き 10月24日(土)
ところ 働く婦人の家(大手町)
内 容 基調講演、梅田雲浜ゆかりの地代表とのパネルディスカッション、剣舞・詩吟など

演劇公演(タイトル未定)

と き 10月25日(日)
ところ 文化会館(大手町)
内 容 地元の劇団「久須夜」による梅田雲浜を題材にした演劇

全国梅田雲浜顕彰吟詠大会

と き 11月14日(土)
ところ 文化会館(大手町)
内 容 梅田雲浜顕彰のため、ゆかりの詩を吟じる全国大会

梅田雲浜に関する郷土資料特別展

と き 11月13日(金)～15日(日)
ところ 若狭図書学習センター(南川町)
内 容 貴重な歴史資料を展示

記念冊子発行

と き 平成28年3月頃
内 容 梅田雲浜の功績や一連の事業内容をまとめた冊子を作成

People



梅田雲浜生誕200年記念事業実行委員会
実行委員長 堂前 廣 さん(78歳・福谷)
長年、地域の歴史・文化の継承や偉人顕彰に携わる。平成21年から「小浜市の歴史と文化を守る市民の会」会長(現参与)として活動

生誕200年や大河ドラマ「花燃ゆ」での登場、関連書籍の相次ぐ出版など、近年まれに見るほど梅田雲浜に対する注目が集まっています。

今が、官民一体となって盛り上げるチャンスだと思い、小浜出身で日本近世史の第一人者と言われる京都大学の藤井譲治名誉教授と、松崎市長に協力を依頼したところ、快諾いただけただので、実行委員会を立ち上げました。

顕彰祭や記念式典をはじめ、意義深い記念事業を企画することで、市

民の関心を高めていきたいですね。特に、子どもたちに、誇れる郷土の偉人について伝えることで、ふるさとを愛する気持ちを育みたいのです。

梅田雲浜は資料が少ないこともあり、これまでその功績が、あまり世に知られてきませんでした。生誕200年を契機に、専門家の協力を得ながら、後世の学問にも貢献できる資料を作るつもりです。その実像に光を当てることで、「小浜に雲浜あり」を、全国に向けて発信したいですね。

魅力ある梅田雲浜像を演劇に

劇団「久須夜」では、200年記念事業に合わせて、梅田雲浜を題材にした演劇作りに取り組んでいます。

わたしは、脚本を担当しています。が、若い世代も共感できる雲浜像にしたいと思っています。梅田雲浜の魅力は、人のネットワークを大切に、次の世代につながる種をまいたところ。これからの日本をどうしていくか、人々が真剣に考えていたという時代背景も、現代を生きるわたしたちに通じるところがあると思います。

一方で、わたしたちは劇団なので、固い内容になりすぎずに、演劇として楽しんでもらえるような工夫もしたいですね。お客さんを笑顔にできるようなお芝居を目指しています。

明治維新は若者が世の中を作っていく時代なので、地元の若い人もぜひこの演劇に参加してほしいですね。

梅田雲浜を題材にした演劇公演の出演者・スタッフを募集しています。初心者歓迎。興味のある人は、文化課☎64・6034まで



劇団「久須夜」
団員 萩原 有紗 さん(30歳・高浜町)
平成24年から小浜の劇団「久須夜」に参加。同年の公演で歌人・山川登美子、25年公演で山口嘉七の妻を演じる

生誕200年を官民一体で盛り上げ